

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第57/58合併号

- 2018年2月 -

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 石井一也
連絡先 045-210-1111(代)
神奈川県青少年課内
印刷 ㈱アサヒプリンティング
044-344-3531



青少年指導員制度創設50周年によせて

神奈川県青少年指導員連絡協議会 会長 石井 一也

青少年指導員制度創設50周年の節目にあたり、特集号紙面をお借り致し御挨拶申し上げます。

さて、私たちが県知事や各市町村長、教育長より委嘱を受けております青少年指導員制度は、戦後間もなく始まった「児童愛護班活動」等に端を発し、昭和43年に制度化されました。現在では神奈川県下で約5,300名が各地域で活動しております。

戦後の荒廃期、高度経済成長期、オイルショック、バブル期と、大きなうねりを経て現在に至っておりますが、その間、急激に世情が変化し、少子化、核家族化、地域の繋がり希薄化等が問題視され、さらにはインターネットや携帯電話、SNSの爆発的な普及・発展により青少年を取り巻く社会環境は大きく変化し潜在化しております。

戦後のベビーブーム、いわゆる「団塊の世代」に象徴される競争社会において、合理化や利便性を推し進めるあまり、私たちの「こころ」までがデジタル化に向かってはいないでしょうか。

本質を見間違えないよう、今こそ「デジタルからアナログへ」と舵を切り、将来を担う青少年が夢や希望を抱いて成長していけるよう、「地域で育てよう！青少年。」のスローガンのもと、次のステップに向け連携を深めていただければと思います。

結びになりますが、先人たちが積み重ねて来られた御功績に敬意を表しますと同時に神奈川県青少年保護育成条例にしっかりと青少年指導員の名が刻まれ、その役目が記されていることの重大さと、その位置づけを意気を感じ、各位の更なる活躍を祈念致し挨拶とさせていただきます。



青少年指導員制度50周年を迎えて

神奈川県知事 黒岩 祐治

神奈川県の青少年指導員は、昭和43年に制度化され、このたび50周年を迎えます。

あらためて、歴代の会長や理事の方々をはじめ、青少年指導員の皆様の御熱意とたゆまぬ御努力に心から敬意を表します。

この50年の間に、青少年を取り巻く環境は大きく変化しました。かつて、青少年は、家庭や地域で、異年齢の子どもや大人と触れ合い、様々な活動を通して、発達段階に応じ必要な資質を身につけながら成長してきました。しかし、近年、核家族化や少子化、情報化などの社会状況の変化に伴い、家庭や地域社会における人間関係が希薄化し、様々な触れ合いや多様な活動を体験できない青少年が増えています。

そのため、これまで以上に、地域の大人が協力・連携し、意図的・計画的に地域の子どもの様々な活動の機会や場を作るなどして、家庭や地域の教育力を高めていくことが必要となっており、日頃から地域で青少年の健全育成に携わる青少年指導員の皆様の役割は、今後ますます重要になってまいります。

そうした中、県では、「かながわ青少年育成・支援指針」を策定し、「青少年の健やかな成長を支え、自立・参加・共生をはぐくむ社会」の実現をめざし、時代の変化に合わせて課題に応じた様々な青少年施策を進めています。

このたびの50周年を契機に、県としても、青少年指導員の皆様方の活動環境の一層の整備に取り組んでまいりますので、皆様には、引き続き、神奈川の青少年の健全育成のために御尽力いただきますとともに、県の取組みに御理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

これまでの「つばさ」のあゆみ

青少年指導員制度50周年を記念し、過去に発行された「つばさ」を通して、青少年指導員のあゆみを振り返ります。

第1号（平成元年12月）

平成元年に発行された第1号。

「つばさ」という名称はまだつけられていません。様式も今と大きく異なっています。長洲県知事(当時)の出席を得て、多くの方々の協力のもと、盛大に開催された青少年指導員大会にかかわる記事が一面に掲載されています。そうした記事から、当時の指導員の方々の青少年に対する熱意のほどがうかがえます。



第22号（平成12年3月）



青少年指導員大会が現行の形式で開催されるようになった年度に発行されたもの。各市町村の公共施設を利用して開催できるように、1,000名規模で丸一日かけて行われていた従来の形式から、300～500名規模で半日間でやる現在の形式に変更になりました。

第25号（平成13年9月）

21世紀に入って最初に発行された第25号。

各地域の指導員の方々による座談会形式の記事になっています。学校の完全週休2日制への移行や、ITを利用した子どもの居場所づくりなど、青少年を取り巻く環境も大きく変化し、新世紀へ向かうに伴い青少年育成についても新たな課題が生じ、それに対応していこうといった心意気が読み取れます。



第37号（平成19年9月）



第37号が発行された平成19年には、青少年喫煙・飲酒防止条例が施行されました。記事に掲載されているスイングPOPやポスターは、毎年度作成し、今年度も各店頭で掲示されています。指導員の皆様方には、日頃から青少年の喫煙・飲酒を防止する環境づくりに御協力いただき、ありがとうございます。

第50号（平成26年3月）

第50号は記念号としてカラー印刷で、ページ数も通常の8ページから12ページに増やして、盛り沢山の記事を掲載しました。

第45号から従来のA3版からA4版にリニューアルし、第47号からは県のホームページにカラーで掲載されるようになりましたので、きれいな画質でどなたでも御覧いただけます。



横浜

50周年記念特集 ◇各地域協議会のあゆみ◇

青少年指導員制度50周年を迎えて

横浜市青少年指導員は昭和43年度の神奈川県青少年指導員制度設立にともない、昭和44年度から活動を始め、昭和48年度に指導員活動の効果的推進と指導員相互の連絡調整を目的として、横浜市青少年指導員連絡協議会が発足しました。

平成30年度には横浜市青少年指導員が活動を開始して50年を迎えます。

現在、横浜市青少年指導員連絡協議会では、神奈川県青少年指導員制度設立50周年を記念して、18区の青少年指導員の代表とともに、50周年記念誌の作成に取り組んでいます。



あいちゃん

〈あいちゃんマーク〉

また、これまでは「あいちゃんマーク」が横浜市青少年指導員のシンボルマークでしたが、制度設立50周年を契機として、「青少年を見守る社会をサポートする横浜市青少年指導員のシンボルマーク」をテーマに、「あいちゃんマーク」にかわるシンボルマークを募集しました。平成30年度からは新たなシンボルマークとともに活動していきます。



〈新シンボルマーク〉

昭和44年度の活動開始当初、横浜市の青少年指導員は14区で約1,700人。学校、地域の方々とともに青少年の育成活動に取り組んでいました。

それから約50年が経ち、横浜市は約370万人が住む大都市へと発展しましたが、その一方で、都市化による本物の自然に触れる機会の減少、近隣付き合いの希薄化、親子関係の変化など、青少年を取り巻く環境も大きく変化しました。

こうした変化の中で、横浜市の青少年指導員は、その時々々の青少年のニーズや青少年に伝えるべきことを模索しながら、それぞれの地域で多様な活動を展開してきました。

また、深夜一斉パトロール活動やキャンペーン活動、成人の日を祝うつどいの運営協力など、横浜市をあげての活動も、多くの青少年指導員の支えにより、10年以上にわたって受け継がれてきました。

現在、青少年指導員は18区で約2,700人。先人たちの御苦勞と成果の賜物ではありますが、地域における青少年の健全育成の中心的な役割を担う存在になっています。



〈成人の日を祝うつどいの運営協力〉



〈深夜一斉パトロール活動〉

50年という長い年月のなかで多くのことが変化しましたが、次代を担う青少年が健やかに、そしてのびのびと育つことは、保護者のみならず社会全体の願いであるということはいつの時代も変わりません。

横浜市青少年指導員は、地域に暮らす大人の一人として、青少年を育むことのできる地域づくりに取り組み、青少年が将来への希望を抱いて成長していけるよう、今後も様々な活動を続けてまいります。

川崎

川崎市協議会のあゆみと活動

1 川崎市の概要

神奈川県北東部に位置し、多摩川を挟んで東京都と隣接しています。横浜市と東京都に挟まれた、細長い地形です。全国的に人口が減少する中、川崎市の人口は増加を続け、平成29年4月には150万人を突破しました。

併せて青少年の人口も増加し、青少年指導員の役割はますます重要になってきています。

2 川崎市協議会のあゆみ

川崎市青少年指導員制度は、昭和39年7月に発足し、平成30年で54年になります。地域社会で青少年の健全な育成活動を積極的に推進するため、町内会・自治会等地域の自治組織、子ども会などの青少年団体、青少年関係機関、さらにはスポーツ推進委員、民生委員児童委員など地域の青少年指導者と連携をとりながら、地域社会全体で子ども・若者を見守り、育てる推進役として活動しています。

3 活動について

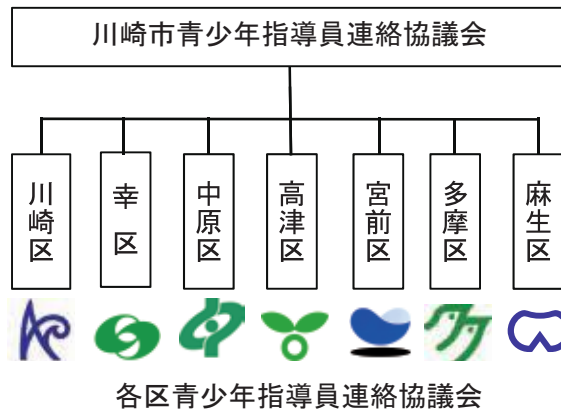
川崎市青少年指導員は、市長及び県知事から委嘱を受け、各地域でレクリエーションやイベント等を通じた青少年の健全育成活動や、青少年に対し愛の声掛けを行う地域巡回パトロール、青少年指導員の資質向上及び交流を図るための研修会などを行っています。

地域における活動が中心となるため、区または地区ごとに連絡協議会を組織し、子ども会やPTAなど、地域の青少年関係団体と連携を図りながら、それぞれ地域の特色を活かした活動を行っています。

地域の青少年は 地域で育てる 川崎市青少年指導員



組織図



川崎市青少年指導員連絡協議会 霜越会長



私は、50周年を迎えるにあたり、ボランティア活動の実践を通して共に支え合う地域社会づくりに貢献できたことを感謝したいと思います。今後も青少年の健全育成のために、地域の中で大人と子どもの顔が見える関係づくりを推進してまいります。

レクリエーション・イベント



レクリエーションやイベントを開催し、青少年の情操を豊かにする健全育成活動を行っています。

地域巡回パトロール



「こんにちは」「早く帰るんだよ」など、『愛の一声』を掛け、青少年及び地域住民との信頼関係を深めています。

地域のイベント



地域に根付いた活動として、町内（自治）会や子ども会と連携し、お祭りなどのイベントでも活躍しています。

研修会



指導員の資質向上と指導員同士の交流を図るため、市・区・地区単位で特色ある研修会を企画・開催しています。

相模原

50周年記念特集 ◇各地域協議会のあゆみ◇

子どもたちの未来を育てるために

■相模原市と連協

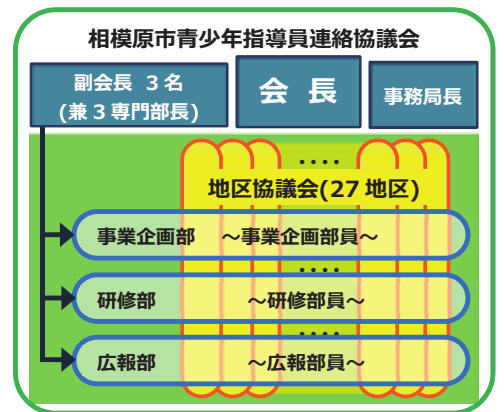
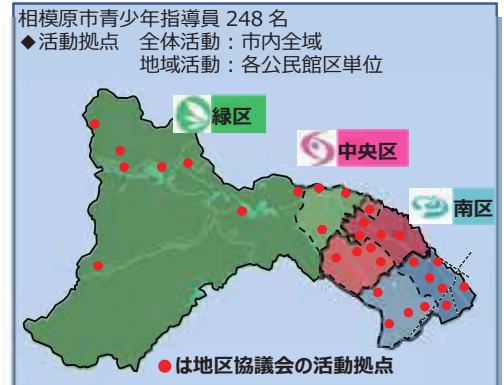
相模原市は神奈川県北部に位置し、人口 72 万人を有する政令市です。面積は 329 ㎓で、横浜市について県下 2 番目の広さです。小惑星探査機「はやぶさ」の故郷としても知られています。相模原市青少年指導員連絡協議会は、地域社会における青少年活動を推進する目的で昭和 38 年に組織され、もうすぐ 55 周年を迎えます。

近年、地域の近所付き合いの希薄化や家族構成の変化等、青少年を取り巻く環境も大きく変化してきています。相模原市ではこの状況を鑑み、平成 29 年度より「こども・若者未来局」を設置し対応を進めています。相模原市青少年指導員も、こども・若者未来局と連携をして地域社会の青少年の健全な育成活動に取り組んでいます。

■主な活動

各地域で青少年を対象としたレクリエーションや研修等を行っています。大きな事業(市民桜まつり、スポーツフェスティバル、親子ふれあいの広場等)は連絡協議会一丸となって活動し、各地域での事業は 27 ある地区協議会単位で活動しています。

地域で生活することも・若者を見守り、未来を育み、安心・安全な地域づくりを支える担い手として相模原市青少年指導員は活動しています。



4月 市民桜まつりチビ子広場
(市役所前広場)



5月 子ども会交歓スポレク
(淵野辺公園)



10月 スポーツフェスティバル
(ギオンスタジアム)



11月 親子ふれあいの広場
(淵野辺公園)



■活動内容の改革

3専門部では、「青少年指導員」の活動を知って頂くために積極的に事業改革を進めています。ここに活動の一端を紹介します。

- ◆**事業企画部**: 協議会の活動内容の企画検討・遂行が主な役割ですが、今期は企画内容の充実、新たな事業(さがみはら子ども権利の日フォーラム)への取組みを積極的に進めています。
- ◆**研修部**: 協議会の中での研修内容の充実を目指し、県の地域活性化事業と連携した研修の企画、イニシアティブゲームを取り入れた研修会や、ジュニアリーダーや青少年育成活動協力者と一緒にオープン研修会を開催しています。
- ◆**広報部**: 今期は広報誌を刷新し、誌面の充実及びカラー化、印刷費低減を実現し、発行部数も倍増しました。対外への広報活動の一環として青少年指導員紹介パンフレットも作成しています。



横須賀三浦

市町協議会活動を振り返って

横須賀三浦地域青少年指導員連絡協議会は、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の4市1町の青少年指導員連絡協議会（横須賀市は青少年育成推進員連絡協議会）で構成されています。各市町協議会の会長・副会長のみなさまの出席をいただき、青少年指導員活動研究会の開催や、イベントをはじめとした各種事業等の情報交換の場として会合を重ねています。今回、長年にわたる市町協議会活動の中で、思い出に残る事業や苦勞した点などを振り返っていただきましたので紹介します。

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

前会長 芦澤 雄一

本市では、各中学校の生徒数に応じて選出された160名が連絡協議会を構成し、中学校対抗ウォークラリー、非行防止キャンペーン、夜間パトロール、活動発表会、4研究部会活動などを行い、また市内の青少年育成5団体でわんぱくフェスティバルを開催しています。一方で各中学校区ごとに、地区の青少年関係役員等と地域連絡会を組織し、その運営を中心に担っています。

様々な方向から青少年を見守り、5年10年後の社会を託せるよう心掛けたいものです。



ペリー上陸の地、久里浜を歩こう
(第10回中学校対抗ウォークラリー記念大会)

鎌倉市青少年指導員連絡協議会

会長 下山 浩子

鎌倉市58名全体の活動は、指導員が手作りした和だこを子どもの成長を願う子どもたこあげ大会、4年生から6年生で行う子どもキャンプ、11年目を迎えました中学生作文コンクールと全力で行っております。また、5地区での活動も地区ごとの計画を立て地域の子どもの成長をより近くに感じながら展開しております。又スキルUPの為に研修会を開催しております。

子どもキャンプは雨天ながら共に活動することで沢山の友達を作り、学校でもない時間が持てたことで、1年がかりの準備は大変なこともあります。子どもたちの笑顔をもらうことで、私たちも、子どもたちの明るい未来に向けて活動していこうと思います。

逗子市青少年指導員連絡協議会

文化部会 会長 内藤 昌浩

青少年指導員の活動で一番の思い出は、毎年5月5日に逗子海岸で開催される「こどもの日のつどい」です。逗子海岸ならではのイベントで、その中でも「砂の芸術」で審査員として優秀作品等を選出することが大変な任務です。どの作品も素晴らしく個性があり、順位を付けることが困難で、毎年頭を悩ませます。残念なことは、最後は作品を壊して平らにして帰らなければならないことです。是非一度「砂の芸術」の作品を観に、逗子海岸までお越しいただければと思います。



逗子海岸のイベント
「砂の芸術」

三浦市青少年指導員連絡協議会

会長 石渡 昇

三浦市は、その歴史から三地域で構成され、地域ごとに各団体と協力しながら活動をしています。主催行事として特に印象的なのは、「中学校・高等学校生徒との懇談会」です。学校や友人、地域社会等をテーマに子ども達と青少年指導員が意見交換を行ないます。子ども達が、純真な感性で家族や友人、先生等を思いやり接していること、また地域の催事や景観等、核家族化や急激な高度情報化の中で想像以上に多くのことを真剣に考えていることを実感しています。



中学校・高等学校
生徒との懇談会

葉山町青少年指導員連絡協議会

会長 諸岡 宏子

4つの小学校区から各5名が選任され20名で活動しています。主管事業の「さわやか体験学習」(工作)のほかに、小学生を対象とした町の事業「たけのこ掘り」、「潮干狩り」やジュニアリーダーズの「ジュニアキャンプ」、「成人式」、陸上競技会の「葉山町駅伝」など青少年が参加する様々な事業への協力を継続しています。

1期2年、最大12年の任期で、小学生から成人式まで見届けられることに感慨深いものがあります。



さわやか体験学習 (モビール作り)

県央

50周年記念特集 ◇各地域協議会のあゆみ◇

子どもたちの笑顔に支えられて

県央地域では、7市町村が一致協力して、様々なステージでこれからも地域の青少年を見守ってまいります。

厚木市青少年指導員連絡協議会

会長 勝木 陽一

私たちは、子どもたちに①物作り体験、②自然体験をさせています。

①少年少女フェスティバルは、各地区の工夫をこらした体験の場です。自分でナイフ等を使い「遊び道具」を作り、それで遊びます。

②各地区では、野外炊事、キャンプファイア等、自然とのふれあい体験をしています。

これからも Jr リーダー、他青少年関係団体と協力し、安心・安全に配慮して、子どもたちの成長を見守ってまいります。

大和市青少年指導員連絡協議会

会長 橋本 正彦

大和市は12地区・106名の青少年指導員で活動を展開しています。

連絡協議会主力行事の親子ナイトウォークラリーもさることながら、各地区における「ふれあい広場」「コミセン祭り」等の地域に密接した行事で常に中心的な役割を担っており、子どもたちの健全育成並びに各自自治区の活性化に大いに寄与できたと考えています。

今後も自治会連絡協議会、社会福祉協議会、PTA、教育関係諸団体の皆様と課題を共有して活動を展開してまいりたいと思います。

海老名市青少年指導員連絡協議会

会長 中野 隆則

海老名市青少年指導員制度50周年を迎えた今年から、ジュニア・リーダーの皆さんと一緒に活動をしています。

この夏33回目を迎えた「親子ナイトウォークラリー」の時には、232組767名の参加者のスタートの合図を、私達にはない(笑)ハツラツとした元気いっばいのかげ声で、会場を一気に盛り上げてくれました。

これからも枠にしばられることなく、様々な形で子どもたちと関わり合い、子どもたちの幸せな成長を支援していきたいと思っています。



青少年指導員活動研修会の様子

座間市青少年指導員協議会

会長 萩原 正恵

座間市青少年指導員は6中学校区で構成され、現在48名で活動しております。

主な活動として青少年美術展があります。市内の青少年を対象に様々なジャンルの芸術作品を募集し、ハーモニーホールで展示します。作品の搬入から審査、展示、表彰式まで全てに指導員が関わります。

展示された作品を眺めていると、「将来この中から芸術家生まれるのでは？」と思うような素晴らしい作品ばかりです。是非一度お越しください！

綾瀬市青少年育成員協議会

会長 榎本 源吉

「地域で育てよう青少年」をもとに地域ぐるみの育成を目指し、学校・家庭・地域・行政等と連携し、青少年の育成に努めています。

綾瀬市では、平成25年4月に青少年指導員と青少年補導員が見直され、青少年育成員として新しい組織がスタートしました。

主な活動は、「ウォークラリー大会」「親子手づくり教室」を事業として行い、育成員の研修として毎年普通救命講習を受講しております。

愛川町青少年指導員連絡協議会

会長 森 敏彦

愛川町の青少年指導員は24名で、パトロール活動等を通して子どもたちに安全・安心を届けるため、日々活動しています。

また、ジュニアリーダーの育成にも力を入れており、今後の愛川町を担う若い芽が、野外炊事やクリスマスイベントを自ら企画・運営しながら成長していくさまに目を細めています。やがて彼らが華咲き成人式の日に立派な姿を見ると、感無量です。

これからも地域の方々と協力して、子どもたちの健やかな成長を支援してまいります。

清川村青少年指導員連絡協議会

会長 柳 貴久

伝統文化の再現と継承、及び青少年の健全育成を目的とした「青龍祭」における中学生ボランティアの協力を得てのゲームコーナーの運営と、毎年委員が知恵を絞って企画する親子ふれあい体験イベントが活動の大きな柱です。

小さな村の小さな組織ですが、小回りが利くことを生かして今後も親子で楽しみ、新たな興味へのきっかけづくりとなるイベントづくりを目指します！

湘 南

地域での活動状況紹介

湘南地域青少年指導員連絡協議会は、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町の5市・3町で構成され、各市町の協議会では、次のような特色ある事業を行っています。

【平塚市】

◇こども大会

今年度で50回を迎えます。

家族ぐるみで楽しい1日を過ごし、親子の愛情を深め、健全な子どもの成長を図り、明るい家庭づくりと地域づくりを推進するのが目的で、28小学校区青少年指導員総勢333名一丸で取り組んでいます。

【藤沢市】

◇教職員等と青少年指導員との情報交換会

市内小・中・高等学校の教職員と青少年指導員とが、青少年が抱える問題について考え、解決策等を検討する情報交換会を開催しています。テーマは家庭や学校生活における諸問題を取り上げ、基調講演や小グループでの情報交換を行っています。

【茅ヶ崎市】

◇青少年指導員連絡協議会 50周年記念式典



平成29年10月7日(土)

茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会創立50周年式典を開催しました。

式典後には、50周年を記念しシンボルマークを決定しました。

(左図)



【二宮町】

◇二宮町ジュニアリーダー養成研修会



青少年が大人とふれあい、学び、大切な思い出と二宮に対する愛を増やしてもらえたらと、青少年指導員全員で頑張っています。



湘南地域連絡協議会
山口副会長 廣田会長

【伊勢原市】

◇少年地域体験学習

各地区において青少年指導員メンバーで議論、工夫し、地域住民を巻き込んだ行事を実施しており、例えばナイトウォークや地元の利を活かした日向川での鱒の掴み採りやさつまいも掘りなどの行事を行っています。

【寒川町】

◇小学生体験学習さつま芋作り

苗植え、草取り、収穫全てを行い、こんなに沢山採れました！



【秦野市】

◇影絵での文化伝承

平成29年度新作(通算3作目)として素敵な影絵「マナとタツ」が誕生しました。このお話は、秦野に伝わる2つの民話「龍と娘」と「おじき」から、現代の秦野に生きる私たち一人ひとりの明日へとつなぐお話となっています。



【大磯町】

◇第6回大磯チャレンジライブ



参加者はすべて高校生！若い力がみなぎる熱いライブで観客を熱狂させました！楽しかった！

県西

50周年記念特集 ◇各地域協議会のあゆみ◇

川柳に想いをこめて

県西地域青少年指導員連絡協議会では、2市8町のメンバーが地域の青少年活動推進のため、活発な協議・意見交換を通して連携を深めています。記念特集号発行にあたり、各市町協議会の活動の一端を写真で振り返るとともに、指導員の想いを川柳にしてご紹介します。



警察官を講師に迎え、声のかけ方の研修（南足柄市）



中学生ふれあいスキー&スノーボード教室（中井町）



ジュニアリーダーとともに（大井町）



ジュニアキャンプ教室（松田町）



高校軽音部のパワー弾ける!!（山北町）



あじさいまつりで恒例のかざぐるまづくり（開成町）

日頃の想いを五・七・五にこめて

- | | |
|----------------------|--------|
| 「パトロール どこ回っても 子どもどこ」 | [南足柄市] |
| 「パトロール 出会う相手は ハクビシン」 | [中井町] |
| 「接するは 大井の未来の 宝物」 | [大井町] |
| 「指導員 大人と子ども 時つなく」 | [松田町] |
| 「若かりし 自分重ねる ライブIN」 | [山北町] |
| 「疲れても 子どもの笑顔が エネルギー」 | [開成町] |
| 「一期ねと 頼みこまれて 早九期」 | [小田原市] |
| 「世代超え 箱根の自然 学びの場」 | [箱根町] |
| 「子どもたち 指導員とは 顔なじみ」 | [真鶴町] |
| 「青少年 活動続けて えり正し」 | [湯河原町] |



青少年育成推進員の委嘱式（小田原市）



須雲川キャンプ（箱根町）



定例会の風景（真鶴町）



新春たこあげ大会（湯河原町）

第50回神奈川県青少年指導員大会開催

思いやり、その大切さを ～つなごう、心のあたたかさ～

平成29年11月12日（日）、高津市民館大ホールにおいて、県内各地から400人を超える方々の参加を得て、第50回神奈川県青少年指導員大会が盛大に開催されました。

川崎市青少年指導員連絡協議会では、平成28年10月11日に実行委員会を立ち上げ、7区が協力し、アイデアを出し合いながら大会開催に向けて準備を進めてきました。

◆オープニング

大会は、川崎市立高津高等学校箏曲部の演奏で幕を開けました。日頃の練習の成果を存分に発揮し、きれいな音色を奏でる琴の素晴らしい演奏で大会を大いに盛り上げてくれました。



オープニング

◆開会・表彰式

霜越儀一大会実行委員長（川崎市青少年指導員連絡協議会会長）の開会宣言の後、県青少年指導員連絡協議会の石井一也会長、神奈川県的首藤健治副知事、川崎市の福田紀彦市長から主催者挨拶がありました。

続いて来賓の県議会県民・スポーツ常任委員会委員長の斉藤議員から御祝辞をいただきました。

そして、今年度の青少年指導員表彰を受賞された60名の皆様へ感謝状が贈呈されました。来賓の方々をはじめ、会場からも大きな拍手が送られました。



主催者あいさつ

表彰式



◆活動事例発表

川崎市中原区（中原区青少年指導員連絡協議会の活動内容について）及び高津区（体験学習会・ウォークラリー～校外学習活動を通じて～）から発表があり、「地域の特色が表現されていて良かった」「今後の地域活動の参考になった」などの感想が多く寄せられました。



事例発表の様子

◆講演

立正大学文学部社会学科教授の小宮信夫氏を講師に迎えて、「青少年育成に望ましい地域をどう築くかー防犯まちづくりと絆づくりー」をテーマに講演をいただきました。

小宮氏自身がテレビ番組で解説した際の映像を交えながら、身近な犯罪が起こりやすい場所や地域安全マップについて説明し、地域の防犯の重要性について熱く語られました。「今までの防犯に対する見方が変わった」「自分たちのパトロール活動に活かしたい」などの感想が多く寄せられました。



講演の様子

◆終わりに

次回開催地である県央地域の中野隆則大会実行委員長（県央地域青少年指導員連絡協議会会長）から来年度の大会の案内があり、吉田一郎副実行委員長（川崎市青少年指導員連絡協議会副会長）による閉会の言葉で大会の幕を閉じました。

神奈川県青少年指導員大会を終えて

第50回神奈川県青少年指導員大会実行委員長 霜越 儀一

第50回神奈川県青少年指導員大会が高津市民館大ホールで開催されました。晴れのおだやかな天気、御来場される皆様方を笑顔で迎えることが出来ました。第50回を開催するにあたり、前年より実行委員会を立ち上げ準備を進めてまいりました。大会テーマを「思いやり、その大切さを つなごう、心のあたたかさ～」と致しました。

オープニングでは川崎市立高津高等学校箏曲部の琴の演奏で会場全体が厳かな雰囲気になったかと思えます。事例発表では中原区の青少年吹奏楽コンサート・全中原中学卓球大会・パトロール行動について、高津区の体験学習会・ウォークラリー～校外活動を通じて

～の発表があり、区の特徴ができました。

講演は立正大学文学部社会学科教授の小宮信夫氏をお迎えし、犯罪学のスペシャリストとして青少年育成に望ましい地域をどう築くか、防犯まちづくりと絆づくりについて映像を交えながらお話していただきました。

最後に、御協力くださった青少年指導員・行政職員の皆様方に心より感謝申し上げます。



青少年指導員のPRを行いました！

11月12日の県青少年指導員大会に合わせ、各地域から集まった16名の青少年指導員が、青少年指導員とその活動についてPRするため、武蔵溝ノ口駅にてのぼり旗の掲出やチラシ等の配布を行いました。



表彰を受けられた青少年指導員のみなさん

これまでの御尽力に深く感謝の意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。

(敬称略)

■横浜地域

山本 恵子	鶴見区
細井 雅文	鶴見区
仲西 幸四郎	鶴見区
林 久人	鶴見区
畑 誠一	神奈川区
高田 初夫	西区
原 弘泰	西区
島田 直樹	中区
陶山 茂	中区
豊岡 航一	南区
穂永 進	港南区
河原 利彦	保土ヶ谷区
関澤 幸枝	保土ヶ谷区
足立 律子	旭区
小森 めい子	磯子区
日置 信司	金沢区
岩本 由紀夫	港北区
梶浦 秀子	緑区
岡部 昇	緑区
蒲谷 淳	青葉区
安藤 晴雄	都筑区
栗原 武司	都筑区
森 記美恵	戸塚区
松 尾 悟	栄区

佐々木 敏	泉区
池田 一昭	瀬谷区

■川崎地域

高木 弘司	川崎区
山之内 千里	幸区
柏木 康博	中原区
菅原 秀子	高津区
山下 京子	宮前区
上原 里子	多摩区
鈴木 浩子	麻生区

■相模原地域

渡邊 勤	緑区
井上 浩	緑区
長瀬 由紀子	南区

■横須賀三浦地域

里見 規矩夫	横須賀市
遠藤 俊義	横須賀市
武井 正雄	鎌倉市
神田 眞弓	三浦市
及川 友子	葉山町

■県央地域

河西 利也	厚木市
小菅 かおり	大和市
安齊 行雄	海老名市
藏本 洋子	座間市
森 敏彦	愛川町
平田 由深子	清川村

■湘南地域

菅 和生	平塚市
川口 昌一	平塚市
松崎 超子	藤沢市
池崎 哲子	藤沢市
飯田 久雄	秦野市
小泉 孝一	伊勢原市
加藤 昌子	大磯町
鈴木 恵美子	大磯町

■県西地域

安藤 恵	小田原市
夏 莉正	大井町
芹野 慎司	松田町
遠藤 功	真鶴町

(御了承いただいた方のお名前を掲載)



(平成30年4月～平成30年9月の予定)

◆横浜市

○紙トンボ、ぶんぶんゴマ体験コーナー（鶴見区）

5月12日（土）

午前9時30分～午後4時

※荒天時は5月13日（日）に順延

県立三ツ池公園（文化・環境）フェスティバル内

来場者へ紙トンボやぶんぶんゴマづくりを体験してもらい、フェスティバルの盛り上げや、地域交流を図ります。

○ホテル観察の夕べ（神奈川区）

6月8日（金）

午後7時15分～午後8時30分

※荒天時は6月15日（金）に順延

県立四季の森公園（JR横浜線中山駅徒歩15分）

親子で夜空に舞うホテルを鑑賞します。

○第22回保土ヶ谷区手作り紙ヒコーキ大会

7月1日（日）午後1時～午後4時

保土ヶ谷スポーツセンター

自作の紙ヒコーキを持ち寄り、滞空時間を競います。

○はぁとdeボランティア～中高生のための夏休み

ボランティア体験～（都筑区）

募集期間：6月上旬～7月上旬

実施期間：7月下旬～8月下旬

都筑区内各所（地域の夏祭り、公園愛護会活動、保育園、高齢者施設等を予定）

オリエンテーション、ボランティア体験、振り返りの3つのステップで実施します。

◆相模原市

○第45回相模原市民桜まつりチビッ子広場

4月7日（土）午後1時

～4月8日（日）午後5時

市役所第1駐車場及び周辺

相模原のふるさとづくりをテーマに「72万人のふるさとづくり」「人・もの・自然、すべての共生を求めて」のコンセプトのもと、市役所さくら通りを主会場に市民の手づくりによる催し物や市民パレード、絵画コンテストなど盛りだくさんの内容で皆さんをお迎えします。第1駐車場周辺では、創作コーナー、魚釣りゲーム、バンブーダンス体験などを行います。

○子ども会交歓スポーツレクリエーションフェスティバル

5月12日（土）午前10時～午後3時

※雨天の場合は5月13日（日）

淵野辺公園 芝生広場・樹林広場

集まれ、小学生！創作コーナーやジャンボ迷路など、楽しい催しが盛りだくさんです。

◆横須賀市

○非行防止キャンペーン

7月の第1～4週の土曜日（午前11時～午後4時～）

非行・被害防止全国強調月間に合わせ、キャンペーンを青少年育成推進員連絡協議会が主体となり、若者と各地域の青少年育成団体とキャラクター着ぐるみが加わり、非行・被害防止を呼び掛けて、チラシ・ティッシュを配布し、啓蒙活動を4地域で展開します。

◆大和市

○第41回大和市民まつり

5月12日（土）、13日（日）

引地台公園

青少年指導員が中高生ボランティアとゲームコーナーを企画・運営します。

◆綾瀬市

○第26回綾瀬市ふれあい探検ウォークラリー大会

7月21日（土）午後5時スタート（予定）

綾瀬市役所南側広場発着4コース

市内在住・在勤・在学の方を対象とし、市内を歩いていただきます。

平成30年度青少年の健全育成を進める県民大会

平成30年7月7日（土）13時から、相模原市の杜のホールはしもとで開催されます。

平成30年度の大会は、「青少年の成長を支える豊かな地域社会づくり」をテーマに、現在、県青少年指導員連絡協議会も参画しているかながわ青少年社会環境健全化推進会議で、大会の企画等を検討しています。

この大会は、例年、地元の高校生等が司会進行を務めるとともに、オープニングアトラクションやパネルディスカッションにも参加しており、青少年の声を聴く良い機会になると思いますので、皆さんも奮って御参加ください。

杜のホールはしもと

[所在地] 相模原市緑区橋本3-28-1 ミウィ橋本7・8階

[交通アクセス]

[交通アクセス] JR横浜線・相模線、京王相模原線「橋本駅」北口より 徒歩約1分

※駐車場は確保しておりませんので、公共交通機関での御来場に御協力ください。



編集後記

つばさ編集委員 岸 真介

青少年指導員制度50周年を記念し、「つばさ」は第57/58合併号、増ページ・カラー版となりました。

「つばさ」アーカイブを特集。昭和44年第1号には長洲知事（当時）のあいさつを掲載、一見の価値が。平成13年第25号では学校でのインターネットが話題となり、先見の明を感じます。（詳細はホームページで御確認ください）

もう一つの特集として、県内の地域協議会のあゆみを掲載。各地域の特徴が出ていて、青少年健全育成への真摯な取り組みがわかります。

「つばさ」は皆さんと育む機関紙です。御意見、アイデアがあればぜひお聞かせください。

「つばさ」第25期編集委員

白石 勝己（横浜地域）

岸 真介（川崎地域）

齊藤 一城（相模原地域）

山口 晴美（湘南地域）

大川 良則（担当理事）